

# 「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」 の取組事例

## 「地域学校協働活動(地域活動)」(宮城県石巻市)

### 取組の概要や経緯

石巻協働教育推進事業の中に、地域活動支援としてふるさと子どもカレッジの開設、学校教育支援として読み聞かせボランティアの育成が位置付けられている。石巻協働教育推進事業は、社会の中でたくましく生きる子どもたちを地域全体で育むために、家庭・地域・学校をつなぐ仕組みをつくり、協働した教育活動を展開するものである。

### 内容

- ふるさと子どもカレッジ  
市内の小学4・5・6年生を対象に、市内各地区で7回実施  
※令和2年度はコロナ対策のため1つの内容を2回に分け、参加者数を分散させた回もある。
- 読み聞かせボランティアの育成  
年3回の読み聞かせボランティア研修会の実施 ※コロナ対策により研修会は中止にした。

### ポイント

- ふるさと子どもカレッジ  
地域の学習力を生かした体験活動 **(地域の名産品の製造の担い手の方などを講師にする)**
- 読み聞かせボランティアの育成  
市内の読み聞かせボランティアなどを対象に読み聞かせ等についての研修を行う。

### 成果

- ふるさと子どもカレッジ  
日常生活では関わることのなかった人・出来事との出会いの中で、思い通りにいかなないことや取り組むことの達成感などを活動を通して学ぶことができたという声もあり、体験的な活動内容を多く取り入れたことで、より自分自身のこととして活動に取り組むことができた。
- 読み聞かせボランティアの育成  
研修の機会はなくなったが、これまでの継続的な活動を知り、地域の方からボランティアとして活動したいという申し出があった。



"ふるさと子どもカレッジ"のようす  
「河北三輪田窯の陶芸体験(左上図)」 「牡鹿地区地元小学校の伝統芸能発表見学(右上図)」 「北上川近くの沢で生き物観察(下図)」

### 今後の方向性

- より多くの人々との関わりを増やすため、地域の人々を講師にした活動内容を計画していく。
- 研修会を企画・実施することで、研修の機会や情報交換の場を設けながら、ボランティアの育成を目指す。

# 「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」 家庭教育支援事業の取組事例

## 「宇宙の教室」( 宮城県 塩竈市 )

### 取組の概要や経緯

NPO法人子ども・宇宙・未来の会の指導者セミナーを受講した地域住民が講師や支援員を務め、親子体験型のスクーリング(工作と実験)プログラムを実施し、震災後の家庭の教育力向上を図る。

### 内容

小学生親子を対象に年2回のスクーリング(工作と実験)を開催する。共通の課題に対して、子供、親、ボランティアがそれぞれの役割を担い、互いに協力し合いながら科学的な観点で実験工作を楽しく学ぶ。

#### ①「色々なシャボン玉」

- ・水中シャボン玉 ・同じ高さに浮かぶシャボン玉
- ・大きなシャボン玉に入りたい!

#### ②「熱気球をつくろう」

- ・熱気球づくり(親) → 気球に絵を描く(子供) → 飛ばしてみる(親子)

### ポイント

- ①親子体験型による親子のかかわり、学びの機会を提供する。
- ②日常的・継続的家庭学習の取組の動機づけとなる資料を提供する。
- ③指導者セミナーを受講した地域住民が講師や支援員を務める。

### 成果

- ・参加親子(のべ)22組、参加者総数42人(満員)
- ・身近な材料を使用したり、動機づけとなる資料を提供することで、家庭での親子のかかわりや学びのきっかけづくりとなった。
- ・親子参加型ワークショップへの積極的参加が促進され、毎年継続的な参加者がいる。



### 今後の方向性

- ・地域の指導者セミナーなどを開催し、地域と家庭をつなぐ人材育成を行いながら、地域全体で子どもを育てる仕組みを構築していく。
- ・親子の協働が日常的・継続的に行われることで、親子の絆を深め家庭の教育力向上を図る。

# 「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」 地域学校協働活動推進事業の取組事例

## 「気仙沼市プラットフォーム事業(地域活動支援事業)」(宮城県気仙沼市)

### 取組の概要や経緯

地域人材や地域の社会教育資源等を活用し、家庭・地域・学校・行政の協働による学びの場づくりを推進することにより、学習支援を通じた地域の活性化を目指し、地域全体で子どもを育てる体制づくりに努めている。



### 内容

市内の公民館区に地域コーディネーターを置き、公民館と地域コーディネーターが中心になり、地域住民や地域資源を活用し、自然体験学習や世代間交流活動を行っている。また、地域住民と子ども達と一緒に、行政区や自治会ごとに防災訓練や防災学習を展開した。

### ポイント

- ①地域資源を生かした自然体験活動の積極的な展開。
- ②将棋や凧あげなど昔の遊びを通じた世代間交流。
- ③地域住民が主体的に関わる事業展開。



### 成果

- ・地域の中で、大人と子どもの交流が活発になっている。地域住民同士のつながりが増えた。
- ・学校生活で体験できない活動の展開と、地域の資源の活用から、子どもの地域に対する興味と関心が高まっている。

### 今後の方向性

- ・地域資源を生かした体験活動の継続。
- ・世代間の交流を積極的に進めることによる地域の活性化。

# 「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」 の取組事例

## 「子どもたちが共に学び合う地域活動」（宮城県白石市）

### 取組の概要や経緯

学校の授業では体験出来ない体験学習、異文化交流、震災の風化を防ぐ目的で実施している防災学習を通じて青少年の健全育成を図るとともに、子供達の自主性や創造性、集団における協調性を養うことを目的としている。

市内小学校から募集を募ることで、被災した地域のコミュニティ復興を目的とし実施している。



### 内容

小学校5・6年生を対象とした事業「わんぱく教室」を実施している。例年、キャンプでのテント泊や野外炊飯、その他体験活動を実施。講師として白石市ジュニアリーダー「キャロル」が指導者として小学生の指導にあたり、将来のジュニアリーダーの育成、子どもの青少年健全育成を図れるような活動を実施している。

### ポイント

小学生にとっては学区を超えた交流を図る機会であり、ジュニアリーダーは小学生の児童の指導を行うことでお互いの学びの場となっている。



### 成果

- ・ コロナの影響により、活動を縮小せざるを得ない状況ではあったものの、他校児童同士の交流が被災後のコミュニティの復興の一助となった。
- ・ 中学校進学時には学区が変わることで交友関係の変化から中学校に馴染むのに時間がかかるケースがある。小学生で他校児童と交流することで中学校生活へのスムーズな移行の一助となっている。



### 今後の方向性

震災による避難者や地域住民も地域の伝統文化に触れる機会が大きく減ってきている。地域を見つめなおす機会を提供しながらこれからも事業を進めたい。

# 「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」 地域活動(瀬峰・高清水教育センター)の取組事例

## 「できることを、できるときに、できるところから、みんなで育もう栗原っ子」(宮城県栗原市)

### 取組の概要や経緯

○「せみね・たかしみずふれあいクリスマス会」は、瀬峰ジュニア・リーダーサークル「KABO KIDS(カボキッズ)」が企画・運営するクリスマス会で、例年ではキャンドルサービスやレクリエーションを参加者と共に行っており、今年度で第21回目の開催を迎えた。

### 内容

○瀬峰・高清水地区の保育所、幼稚園、小学校に通う子供を対象とし、今年度は19組36名の参加申込があった。  
○今年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、一部内容を変更しての実施となったため、キャンドルサービス等は中止となったが、ジュニア・リーダーがクリスマスカードを手作りし、参加申込者にプレゼントと併せて渡した。

### ポイント

○準備・広報等の事業企画にジュニア・リーダーが直接関わることで、企画・実技経験を積むことができ、資質向上に繋がっている。

### 成果

○コロナ禍であるが、実施に向けての話し合いがジュニア・リーダーを中心に行われ、活動を行う上での臨機応変に対応する力を養うことができた。  
○事業開催によって、参加した子供たちがプレゼントをもらい楽しむだけでなく、保護者と地域コミュニティの交流の場をつくる機会ともなっていた。



来場した親子の沢山の笑顔を見ることができた



### 今後の方向性

○例年通りの活動ができない状況が続く可能性を考慮し、限られた中でどのような活動を実施していくのかジュニア・リーダーと話し合いを継続すると同時に、企画立案・準備・運営におけるジュニア・リーダーの資質向上を図っていく。

# 「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」 (学び支援コーディネーター等配置事業)の取組事例

## 学校と近い存在を目指して「市民センター指導員研修」(宮城県 東松島市)

### 取組の概要や経緯

地域学校協働活動推進事業は市民センターが中心となって事業を進め、市民センター職員が学校運営協議委員として加わっているケースもある。

市内のコーディネーター配置の整備が整わない中、市民センターの力を借りることが有効ではないかと考え、地域と学校・学校と地域をつなぐ拠点として、市内8地区ある市民センターを候補として研修会を開催した。

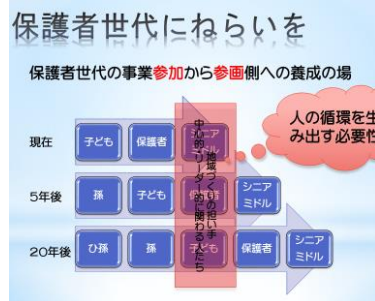
### 内容

- ・地域学校協働活動やコミュニティ・スクールの取組は全て地域づくりにつながっているという確認。
- ・市民センターで継続して開催されている特色のある趣味の教室、各種学級について、「愛好会」へ、さらには活動目的をもち、地域貢献ができる集団「社会教育団体」へステップアップさせるための方策を実際に取り組みされている事業を例に挙げた説明。
- ・地域連携担当教諭とセンター職員(まちづくり指導員・生涯学習指導員)とが同席した情報交換会を開催し、それぞれが求めていること取り組んでみたいことなどを共有する時間の設定。
- ・技術研修として、活動の広報誌づくり「効果的な情報発信」をテーマに教育応援団にも登録している河北新報社の職員を講師に開催した。



### ポイント

- ・生涯学習課と市民協働課が連携した研修会とした。
- ・地域課題である「担い手不足」を取り上げ、子供たち支援(学校支援)を行うことは担い手の育成につながることを、さらに保護者世代を事業に参加・参画させることは担い手の循環にもつながることを伝えている。



### 今後の方向性

- ・教職員の中には地域学校協働活動やコミュニティ・スクール制度は「働き方改革」のためだけと捉えてしまっている傾向にある。今一度専門家に地域学校協働活動やコミュニティ・スクールの意義を伝えてもらうことで、市民センター(地域)が子供たち(学校)を支援する一方向の支援ではなく、学校も地域行事への子供だけではなく保護者の参加を促すなど双方向の支援になる仕組みを構築しなければならない。

### 成果

- ・地域ごとの情報交換会では学校と市民センターのすれ違いを解消することができ、気軽に相談できる場所としての認識へと変わった。
- ・市民センター事業に関して、今まで以上に目的を意識した計画、将来のゴールを見据えた計画の作成につながっている。

# 「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」 の取組事例

## 6-2(4)地域活動「親子ドライブインシアター」( 宮城県 蔵王町 )

### 取組の概要や経緯

コロナ禍でも安心して芸術に触れる機会を提供し、(1)非日常での共通体験により家庭内コミュニケーションを促進する、(2)情操教育の一助として教育映画を視聴することを目的とする。

### 内容

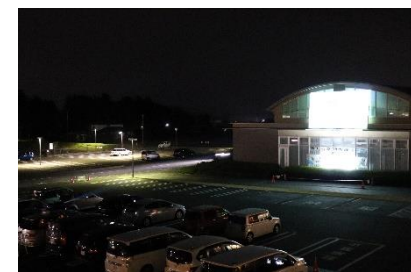
蔵王町ふるさと文化会館の駐車場を会場に、職員手作りの大型スクリーンを壁面上部に設置し、「アルプスの少女ハイジ」を上映した。音声はFMで流し、車内から映画を見するという、子どもたちが体験したことのない芸術鑑賞の機会を提供することができた。

### ポイント

当初予定していた日が台風接近によりやむなく延期し、1ヶ月遅れでの開催となった。コロナ禍において室内での映画鑑賞が制限される中で、安心して鑑賞できる方法を模索し、非日常体験の提供に至った。

### 成果

台風の影響による延期で開催日を平日に変更したため、参加20組ほどであったが、参加者からは多くの好評をいただき、次回開催を望む声がたくさん聞かれた。



### 今後の方向性

反省点を活かし、ございんホールの定期イベントとして開催できるよう、検討していく。

# 「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」の取組事例

## 「地域学校協働活動推進事業(地域活動)」(宮城県柴田町)

### 取組の概要や経緯

柴田町では平成23年度から柴田町子どもフェスティバルを開催。子どもたちが一堂に会し、さまざまな遊びを通して人とかかわることを学び、地域の垣根を超えた子ども同士の交流、さらには、子ども会活動の重要性や地域の青少年健全育成の意識づけを目的に実施している。



### 内容 ※1月末現在

- 子どもフェスティバルの開催(対象は小学生と町民)年1回(10月)実行委員会(6地区子ども育成会)を組織し企画運営。
  - 町内の子どもが一堂に会し、手作りおもちゃワークショップを実施。地域の垣根を超え、さまざまな遊びを体験しながら子どもと大人の交流イベントを実施予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮し中止となった。
- ジュニア・リーダーの育成:会員16名(高校生9名,中学生7名)子ども会活動の活性化や次世代リーダーの育成。
  - JL研修会,自主企画イベントの開催などを実施。新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮し、姉妹都市交流会への参加及び子ども会の支援は中止となった。



### ポイント

子どもたちに異年齢とのつながりを持てる場を提供し、自主性や協調性、社会性、リーダーシップ等を伸張させ、豊かな人間性の育成を図るとともに、地域住民との幅広い交流を通して、地域を元気にし、地域コミュニティの活性化及び地域貢献に寄与するため、以下の目標を設定。

- 地域で活躍するジュニア・リーダーの人数増加
  - ジュニア・リーダーの活動をPRし、中学生4名以上、高校生2名以上の新規会員の確保を目標とする。

### 成果

- 4月に生涯学習カレンダーに会員募集掲載
  - 5月に町のホームページに活動紹介動画掲載。
  - 6月に町内中学校全生徒及び宮城県立柴田高等学校1・2学年生徒に会員募集チラシ配布。
  - 派遣活動時等に、ジュニア・リーダー及び事務局が保護者や児童に、会員募集、派遣方法などの宣伝活動実施。
  - 「柴田町ジュニア・リーダーサークルかぐや姫」のフェイスブックページに、活動内容及び活動PR掲載。
- 上記活動により、目標値には及んでいないが、今年度、中学1年生2名、中学2年生1名の入会につなげることができた。

	学年	会員数 (新規会員数)	新規会員 合計	目標 会員数	達成率
中学校	1年	2 (2)	3	4	75.0%
	2年	4 (1)			
	3年	1 (0)			
高校	1年	6 (0)	0	2	0.0%
	2年	2 (0)			
	3年	1 (0)			
合計		16 (3)			

【ジュニア・リーダー新規会員の目標人数達成率】

### 今後の方向性

- 子どもフェスティバルは来年度で11回目を迎えるが、内容等がマンネリ化とならないよう工夫し、参加者及び実行委員がより楽しめる魅力のあるイベント作りを行い、集客増員を目指す。
- より地域コミュニティを円滑にするために、イベント終了後に参画した児童及び大人の反省会を設け、さらに実行委員同士の親睦を深め、地域を活性化させられる元気な町民を育成していく。
- ジュニア・リーダーの知名度を高めるため、各地域で活動PRを積極的に行い、入会者の増員を図るとともに、次世代リーダーとしてのスキルアップを目指す。



# 「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」 (学び支援コーディネーター等配置事業)の取組事例

## 「青少年教育(ジュニアリーダー研修・交流会)」(宮城県亘理町)

### 取組の概要や経緯

心身ともに健やかな児童・生徒の育成をねらいとした、子ども会活動振興に資するため、町内の小中学生及び高校生を対象に、発展的な活動を通し、規律・友愛・奉仕等の尊さを体験的に学習させるとともに、ジュニア・リーダーとして必要な知識・技術・行動を高める。



### 内容

- 子ども会行事への派遣事業。
- 県主催の中級研修会・上級研修会などへの積極的な参加。
- 姉妹都市交流研修にて5市町村の団体シニアリーダーが情報交換や交流を行う中で、相互の親睦を深めるとともに、シニアリーダーの資質向上を図り、もって少年団体活動の推進に資する。
- 町内の小学校6年生、中学生及び高校生を対象としてジュニア・リーダー初級研修会を実施し、ジュニア・リーダー活動に対する興味・関心を高め意欲づけをはかる。
- 亘理町ボランティアサークル「たんぽぽ」会員を対象に、ジュニア・リーダーとしての必要な知識や技能の向上及びさらなる交流を目的とした研修を行う。

### ポイント

- ①コロナ禍に対応して、検温、消毒を徹底して活動を行う。
- ②月2回の定例会と姉妹都市研修(R2年度中止)、初級研修、会員研修
- ③積極的な子ども会への派遣及び主催事業の企画、実行

### 成果

- ・コロナ禍でも活動を縮小しながら無事に活動を続けることができた。
- ・姉妹都市研修は中止となったが、初級研修、会員研修は実施することができた。
- ・子ども会の参加はコロナ禍の為、1回しかしなかったが意欲的に各種研修の計画立案に関わる様子が見られた

### 今後の方向性

- ・コロナ対策をしっかりと行いながら、各種子ども会活動及び研修会や主催行事に積極的に参加する。
- ・新しい生活様式に対応しながらも、亘理町ボランティアサークルの伝統を大切にしながら積極的、自立的な活動を続ける。

# 「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」 地域学校協働活動(地域活動)の取組事例

## 体験活動や交流活動をととして地域のネットワークづくりを行う活動(宮城県七ヶ浜町)

### 取組の概要や経緯

自然体験活動や交流体験活動を通して、地域を愛し、地域づくりを担う人材を育成する。



### 内容

- ①体験活動をととして親子の話題作りや地域での仲間づくりを目的とする「親子ふれあい塾」
- ②様々な体験活動をととして自立心、探求心、地域での仲間づくりの推進を目的とする「アドベンチャースクール」



### ポイント

- ①年齢や実態に応じた事業内容
- ②ヨット帆走体験や稲刈り体験など地域資源の活用



### 成果

- ・七ヶ浜町に住んでいても、なかなか体験できない活動をするこ  
とで、参加者は新たな気づきを得ることができた。
- ・親子ふれあい塾では89%、アドベンチャースクールでは100%の  
参加者が活動を通して七ヶ浜の良さを感じたと回答している。
- ・コロナ禍であっても事業の回数や内容を変更して実施し、ねらい  
に沿った活動を行うことができた。

### 今後の方向性

- ・町内の資源を更に活用したプログラムを考える。
- ・参加者同士が更に主体的に交流しながら、体験活動できるように事業を実施する。

# 「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」 (学び支援コーディネーター等配置事業)の取組事例

## 「町は学校」学校・家庭・地域が連携した教育活動(宮城県 大和町)地域活動支援

### 取組の概要や経緯

震災以前からの活動が震災後も継続して行われてきていることに加え、震災後の人口増による地域づくりに対応するために交流促進を図る活動が展開されている。

「地域活動支援」においては、児童・生徒から大人までの、地域住民同士の交流を図り活力ある地域形成に向けて、自然体験活動や地域の行事へのジュニア・リーダーの参加などの活動を展開している。

### 内容

#### ◎地域活動支援

○大和っ子未来塾(インリーダー研修)代替事業「ジュニア・リーダーと遊ぼう！」  
○子ども会育成事業 ○ジュニアリーダー遊び場作り活動 ○学校開放講座：実施なし  
地域活動支援事業では、ジュニア・リーダーを中心とした活動を行っている。「大和っ子未来塾」は今年度中止となったが、その代わりにジュニア・リーダーと小学校5、6年生の交流の場として「ジュニア・リーダーと遊ぼう！」を実施した。レクリエーションなどを通して、小学生たちの憧れの存在となれるよう活動に取り組んでいる。また、子ども会への派遣事業や、児童館まつりなどの各種事業のサポートを行い、地域活動の活性化を図っている。

### ポイント

- ①活動及び学校毎に記録写真を用いた「活動啓発報告カレンダー」「協働教育ニュース」を発行、配布し、活動の様子を共有している。
- ②多くの地域住民に活動を知ってもらえるようチラシ配布など周知を行っている。

### 成果

コロナ禍ではあったが、ジュニア・リーダーと小学校5、6年生が交流する機会を通して、ジュニア・リーダーの存在をPRすることができた。共に活動することによって、ジュニア・リーダーへの憧れを持つようになり、それが活動の原動力となっている。また、子ども会サポートなどに参加し、地域の活性化が図られている。少ない回数ではあったが、ジュニア・リーダーにとっても、地域の方と関わり、様々なことを学ぶ機会を持つことができている。

### 今後の方向性

- ・ジュニア・リーダーとして地域活動への参加を継続して行い、地域の子どもと大人をつなぐ橋渡しとしての役割を果たす。また、先輩後輩とのつながりを持って活動が継続されるよう支援する。
- ・地域住民・児童生徒・学校の交流を図り、学校・家庭・地域が協働できる地域づくりを目指す。



# 「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」の取組事例

## 「地域活動 親子門松づくり教室」(宮城県 女川町)

### 取組の概要や経緯

震災前は町子連の行事の一環として、町内の子供たちが大勢集まり正月の行事の伝統文化を体験していた。しかし、震災後は、地域が壊滅し、町子連の活動も実施できなくなった背景から、町子連の活動を再開に向けての足がかりとできるよう取り組んでいる。

### 内容

- お正月の行事を体験するために、門松づくりを実施する。
- 竹を切る体験を意図的に計画し、親子で協力する場をつくり、親子間交流を行う。
- 門松づくりを通して、地域住民同士の交流を図る。

### ポイント

- 地域生涯学習指導者の積極的な活用により、子供たち同士が体験を通して楽しく交流できる場を設定するとともに、世代間の交流を図ることができる場を設定した。
- 日本固有の文化を継承し、ふるさとの関心を高める。

### 成果

- 保護者から「門松の飾りについて、子供と相談しながら取り組めたことはよい思い出になった」や「参加者同士が作った門松を話題に話ができたことがよかった」と感想があった。また、数日たってから、「家族でもう一つつくりました。来年も作って飾ります」と報告を受けた。このことから、地域間交流や生涯学習の効果が十分現れていたと感じる。

### 今後の方向性

町子連の再始動が大きな目標となるが、今後も地域のニーズを把握して、よりよい学びを提供できるよう事業を展開していきたいと考える。また、地域の壮年者等の協力が頂けるようボランティアを募りたいと考える。

